



# みどりのきずな

平成22年3月20日発行 第11号

【緑区地域福祉計画 基本理念】

『区民一人一人が手を結びあい、  
心あたたまる地域の活性化をめざし、  
住みよいまちを創造していく』

編集：緑区地域福祉計画推進協議会広報部会

発行：緑区地域福祉計画推進協議会事務局

(緑保健福祉センター 保健福祉サービス課内)

千葉市緑区鎌取町226番地1

TEL 043-292-8142 FAX 043-292-8276

## 高齢者の方へ「ことほぐ」 気持ちを失いたくない

委員長 岡本博幸

「国内においては、高齢化、少子化、医師不足も近年大きな問題として取り上げられており、いずれも深く案じられますが、高齢者が常に「問題」としてのみ取り扱われることは少し残念に思います。九十歳、百歳と生きていらした方々を皆して、ことほぐ気持ちを失いたくはないと思います。(皇后陛下)「天皇・皇后陛下御成婚五〇周年記念のときのお言葉です。(朝日新聞から)」

「ことほぐ気持ちを失いたくない」このお言葉に大変心をうたれました。暖かみと、慈しみのあるお言葉だと思いました。「ことほぐ・言祝ぐ」広辞苑によれば「福寿。寿老。寿詞。賀寿。」とあります。「ことほぐ気持ち」とは、高齢者の方が生きてこられた証しを貴び、連綿とつながる人から人への命の大切さに対し、心から敬う気持ちを大事にしていくという意

味が込められていると思います。

十二月と二月に高齢者と六年生の児童による交流会と招待給食会が椎名公民館と椎名小学校でおこなわれました。総合学習の一環として福祉を考える学習でした。交流会では、グループがお年よりを囲んで、「昔の服装、行事、遊び、勉強、手伝い、生活様式、食べ物、おやつ等々」を話し合い、歌を歌い、ゲームをしました。招待給食では、地元の野菜とお年よりのことを考えた献立給食を食べ、ゲームや歌を歌い楽しい一時を過ごしました。触れ合いから児童は、生活の歴史や苦労、人間の営み、伝えたい事柄等様々なことを学んでいました。そして一人一人が今後どう生きなければならぬかを考えるよい機会でした。

お年よりは、児童との話し合いから若さとエネルギーを、そして生きる喜びを頂いている様子でした。お年よりのいきいきとした笑顔。喜々とした声。身振り手振りを交えた様子からは、何十年たまった思いを堰を切ったように話

されてきました。顔一杯の笑顔は最高でした。

以前は、このような触れ合いの場は、近所にあつたのです。向こう三軒両隣の社会には、心の通う会話がそこかしこにあつたのです。それが、いつの間にか地域から無くなり、お年よりは、隅に追いやられ、口は閉ざされ、思いを話す事がなくなり、笑顔は無くなり閉じた貝のようになってしまったのです。

語ることは、人の心を解放し希望と生きがいを与えてくれます。語り合う事によって「ことほぐ心」は醸成され、「ことほぐ気持ち」となつて表れてくるのだと思います。皇后陛下の「ことほぐ気持ちを失いたくない」とは、戦後日本の社会を築いてきた高齢者に対しての慈しみのお言葉であり、慈しみ合う人間関係を大切にしたいという願いであると思えます。

「ことほぐ気持ち」この言葉は、私たちが推進している「緑区地域福祉計画推進協議会の目標」であるとも思っています。

## 【千葉いのちの電話からの紹介】

### ひとりで悩まずに

あなたの寂しさを受け止める電話です。

高齢者だけで暮らす世帯が急速に増えている。昔は家族や近隣の住民が積極的に結びつき、行政も深くかかわってきた。従って高齢者は色々な方面から見守られ安心ときずなを得ていた。だから孤独死も少なかった。しかし今日ではこれらの機能はすっかり弱まってしまった。

私たちの活動はボランティアによる心の相談電話です。

いつも電話がつながっている間だけでも、相談してきた人たちと悩みを共有したい、支えている人がいると伝えている。

- \* 誰にも話せずに、ひとりで困っている・・・
- \* 誰かに、力になってほしい・・・
- \* すべての望みを絶たれて途方にくれている・・・
- \* 生きていく自信を無くした・・・

このような人たちからの電話を、相談ボランティアが聴き、対話し、良き隣人として援助します。

- ◎ 名前を言う必要はありません
- ◎ 秘密は必ず守ります
- ◎ お互いの宗教や思想を尊重します

電話 043(227)3900 千葉いのちの電話(24時間 無料)

### お話しに夢中になっている児童



**昔遊びの会**  
平山小学校では、一、二年生を対象に年一回、辺田町長寿会の皆様にお願いで、昔遊びの会を催し、竹とんぼ、おはじき、お手玉などの遊びを教えてくださいました。おじいさん、おばあさん達も昔を思い出しながら、道具の作り方を遊び方を教えながら楽しい一日を送られました。特に一年生は初めてやる遊びに夢中になって取り組んでいました。

### 誉田地区

#### 誉田地区の地域協力者

誉田地区には、誉田中学校、誉田小学校、それに誉田東小学校の三つの市立学校があり、保護者会(PTA)とは別に、地域協力者としてボランティアでおやじの会、ひまわり教室、地域協力会等が大人と子どもが、一つの教室として活動している。

三校のおやじの会として合同では、女性保護者等が難しい時間帯に、地域パトロールは夏季、冬季実施しており、この他フェスティバルの出店、クリーンデー、運

#### 【感想コ～ナ～】

竹とんぼをやってみると木より高くとびました。家でもやってみました。高くとんだのでうれしかったです。  
一年 高木 麻鈴 さん

輪ころがしはむずかしかったけれど、コツがわかるとできるようになりました。はやく走ることがコツです。はじめてやった

動会や地域の祭りのパトロールにも、参加する事で、子ども達の非行を守って、笑顔の挨拶を教えている。

## 椎名地区

高齢者の皆さんから

たくさんのお話を学びました  
私たち椎名小六年生は「福祉」  
に関する勉強会をしました。

十二月十九日(土)、一月二十一日(木)の二回にわたって、「椎名ふれあい食事会」にお邪魔し、ご高齢の皆さんから昔の話や、今の暮らしぶりなどを聞くことができました。

また、二月九日(火)には、私たちが地域の人を招いて「招待食事会」を開きました。

お年寄りに「やさしい」献立や楽しく遊べるゲームや手話を交えながら唄う歌などを、私たちがみんなで考え、話し合って決めました。

また、昔の話の中で戦争のため、食べ物が少なく芋や雑穀を主食としていた時代の話、物が無くて工夫して使った話、助け合いながら、苦労して私たちの親を育てられた話は初めて聞きました。

お年寄りの「食べ物は無駄にしない」、「もったいない」、「助け合い」の気持ちを引き継いでいきたいと思いました。(感想文より)

### 住民全員で福祉活動に

#### 参加しました

#### 「福祉コミ懇まつり」実施

「人と人が支え合う町」づくりの催し物のひとつである、「福祉コミ懇まつり」が二月十四日(日)、椎名小学校にて開催されました。

「バザー」には地域性に富んだ

## 土気地区

### 土気地区で活躍

#### 『有償移送サービス』

農産品をはじめ、地域住民の善意の品が多数提供されていきました。買い手も老若男女、多くの人が集まり、「お久し振り」、「お元氣？」など会話も飛び交い、まるで同窓会気分でした。

「ゲートボール大会」には、五チームが競い合い、一喜一憂しながらもはつらつとした姿が見られました。

今年も子どもたちも遊べて「ふれあえる」ゲームコーナーもあり、「まつり」への参加者も世代を超え、厚みが増しました。

この「まつり」になくはならない「おにぎり」づくりは、今も既に現役を退かれた、日赤奉仕団の皆さんの、今も変わらぬ奉仕による支えがありました。感謝！

### 行事予定

4月 6日(火) ~  
12日(月)  
「あいさつ運動」  
椎名小 周辺

「病院へ行きたいが、バス停までの歩行、電車の乗り換えが大変だ!」、「免許を返納した!」、「買い物に行きたいが、荷物を持ってない!」等、高齢者の移動に対する不安や悩みに答えるため、平成十八年から『福祉有償運送サービス(関千福第九二号)』を始めました。利用可能者は、土気地区を生活の拠点とし、要介護、要支援、障害認定者等で公共交通手段の利用が困難な方が対象で、移送会員登録が必要。利用目的は、通院、所用、買い物、習い事等対応、自宅から目的地まで乗降を含めたサービスが受けられ、安心して利用できます。料金は土気地区内一コイン(五百円)から対応しています。他の地区にも出来て、連携できることを望んでおります。

詳しくはNPO法人すこやかネットみどり(電話二九四一九五一一)まで。

### おばあちゃん、教えて~



## 新春恒例

### あすみが丘創造の杜に大歓声

第二十七回小中マラソン大会（土気地域の四中学校区育成委員会が主催）が、あすみが丘創造の杜公園を会場にして開催された。

この大会は、同公園内の野球場およびトリムコースを利用して四中学校区の四年生以上の生徒を対象に、毎年新春に行われている恒例のスポーツイベントです。今年も新型コロナウイルスの影響もあり開催が懸念されたが、昨年の記録をさらに更新する八六二名が元気に完走、家族連れの応援も加わり、大歓声がこだまする盛大な大会となりました。

記録の面でも二レース（四年男子で波多野治郎、中二、三年女子で鈴木希実）で更新し、三大会連続優勝者も二名達成（坂元大介、松井美緒）し特別賞授与など、盛り上がるの大会となった。

### 【行事予定】 チューリップまつり

日時 四月十八日（日） 十時～十四時

場所 野馬の里

### 寒さに負けずに ファイト！！



## おゆみ野地区

### 「おゆみ野っ子たちのタスキが つながった！」

二月十四日、第二回おゆみ野四季の道駅伝大会が開催されました。二回目も晴天に恵まれ八十六チーム、四百二十六名の子どもたちが、「おゆみ野四季の道」を元氣いっぱい走ってタスキをつなぎ、街中が声援と歓喜であふれ返りました。

今回は中学校陸上部が初参加となり、本格的な走りを魅せて大会を益々盛り上げました。また、

昨年に引き続き参加した特別支援学級と養護学級のチームも立派に完走し、一生懸命に走り終えたその顔はとても輝いていて沿道からは大きな拍手が送られていました。

この駅伝大会は約四百名のボランティアにより支えられていますが、今年も地元高校野球部がボランティアとして参加し、子どもたちの誘導係として活躍してくれました。

「地域のタスキもつながった！」そんな素敵なおゆみ野っ子たち。そんな素敵な一日となりました。

大会の緒方実行委員長からは、参加、協力、応援してくださいと皆さんに感謝の言葉が返されました。

### スタート！「よ～い、ドン！」



### ◆◆◆編集後記◆◆◆

よく無意識に「福祉」という言葉を言ったり、聞いたりしますが、辞書には「多くの人々の幸せ」と書いてありました。

「幸せな生活」を送るためには、周りの人々の「支え愛」、「助け愛」が必要な人も多く見られます。

あなたの小さな「思いやり」行動が、人々の幸せにつながります。まずは、乗り物での「席をゆずる」ことから始めてみませんか。(H)

### 行事予定

さくらさくさくウォークラリー

日時：4月4日（日）

9時30分 受付開始

12時30分 まで

場所：鎌取コミュニティセンター